

議長定例記者会見（H29.10.10）

（報告）

お忙しいところお集まりいただきましてありがとうございます。

私から、9月定例会採決結果について報告をいたします。

知事提出議案76件のうち議案14件を可決・同意・承認し、継続審査が5件、報告のみが57件ありました。

議員発議案については、2件が可決となり、1件が否決となりました。

議員派遣については、海外派遣1件・国内派遣3件が可決されました。

請願については、受理された2件が採択されました。

私からは以上でございます。

○記者

青森県の国政選挙の投票率について伺います。今日、衆議院議員選挙が公示されたところですが、前回、2014年の衆議院議員選挙では、青森県の投票率は全国最下位でした。去年の参議院議員選挙も、最下位は脱しましたが、27位と低調に推移していると思います。今回の衆議院議員選挙は、18歳選挙権が導入された初

めでの衆議院議員選挙ということもありますので、これまでの投票率の動向を、まずどう見ているか、そして投票率がどうあるべきとお考えかお伺いします。

○議長

これまでの選挙の投票率の動向をどうかといわれれば、今、お話しがありましたとおり、2014年の衆議院議員選挙は全国最下位であり、昨年の参議院議員選挙は、最下位が27位へと順位が若干上がったとはいえ、18歳選挙権のところの投票率が低かったということも考えれば、当たり前のことではありますが、選挙というのは国民が政治に参加をする貴重な機会でありますので、やはり選挙に行っていただきたい、投票率は当然上がるべきだと思っています。

○記者

国政の関係ですが、民進党が事実上解党して、希望の党と立憲民主党という形で分れましたが、県政においては、民進党県連というのがまだ残っており、選挙後に具体的な動きが出てくるだろうと思っていますが、議会にも民進党の議員が4人いることから、今後、県議会においてどのような影響があるとお考えでしょうか。

○議長

基本的に、国政にかかわる政党の動きに関してはここで申し上げるべきことではないと思いますし、それが、県政にどういう影響を与えるのかということについても、現段階では何とも申し上げられないということだと思えます。

以上です。